

氷川町長 藤本一臣 様

被害を受けた 住宅の住所	
連絡先 (電話番号)	(自宅・携帯・会社)
御名前	

- 1 被災日時 令和8年7月28日
- 2 被害を受けた場所（※該当する箇所には○をつけてください。（複数回答可））

屋根 ・ 外壁 ・ 建具（窓、玄関、サッシ）

上記以外（具体的に記載）

- 3 緊急の修理に関する希望（※以下のいずれかの□にチェックをしてください。）

☐ ブルーシート、ロープ、土のう等の資材の提供を希望します。

- ・ブルーシート（最大３枚）
- ・ビニールロープ（マイカ線）300m～500m（最大１巻）
- ・土のう（UV ブラック土嚢）（最大５０枚まで）
- ・防水テープ（20m×100mm）（最大３巻）

※資材の提供を受けた場合には、様式第２号の受領書を提出願います。

☐ 修理業者にブルーシートの展張を希望します。

施工業者は自治体で指定しますが、希望する業者がある場合は施工業者名、電話番号を記入願います。

また、希望する業者の場合には、施工業者が作成した見積書を持参願います。

（施工業者名・連絡先： ）

自治体記入欄	受付欄

被害状況報告書

被害を受けた 住宅の住所	
御名前	

被害状況	被害状況

被害状況	被害状況

被害状況	被害状況

令和 年 月 日

工 事 完 了 報 告 書

氷川町長 藤本一臣 様

(施工業者)

次の被災者住宅について、別添修理見積書（写）のとおり緊急の修理を完了しましたので、報告します。

1 被災者住所・氏名

住所_____

氏名_____

2 受付番号 _____

3 完了年月日 令和 年 月 日

【添付書類】

施工写真（施工前、施工後）

様式第5号の2

緊急の修理（修理前・修理後）の施工写真

※「救助の必要性」、「内容の妥当性」を判断する上で重要な資料となることから
修理業者は、写真の撮影を行うこと。（写真がない場合には、別の方法により説明
が必要になります。）

修理前	修理後

修理前	修理後

修理前	修理後

※ 修理前、修理後の写真を撮り忘れた場合においては、日常生活に必要な最低限度の修理を実施する前に必ず写真を撮影すること。

なお、申立書については、単に「修理を急いでいたため、写真を撮り忘れた」等の理由は証明とは見なさないので、留意すること。

「緊急の修理」証拠写真代替資料

氷川町長 藤本一臣 殿

修理業者名	
代表者	
電話	
メール	

災害名	令和8年熊本地震
自治体名	
修理物件	邸（住所： ）
実施日	令和 年 月 日
修理金額	円（自己負担分 円）

本件に関し、「救助の必要性」「内容の妥当性」の証拠となる修理前後の写真を撮り忘れたことから、代替として、下記のとおり証します。

記

1. 救助の必要性の証明

【修理前の被災状況】

邸図面（1階）

※損傷箇所を赤枠で示し、損傷状況を簡潔な文で（メモを）記入すること

邸図面（2階）

※損傷箇所を赤枠で示し、損傷状況を簡潔な文で（メモを）記入すること

2. 内容の妥当性の証明

上記の箇所に次のとおり緊急の修理をしたことを証する。

実施状況	区分（修理内容）
	ブルーシートを展張
	ベニヤ板で補修
	落下防止ネットを展張
	その他（ ）

※該当する区分に係る実施状況の欄にチェックする（「レ」や「✓」などの確認した旨の記号等を付す）こと

※その他の場合具体的に記載すること

令和 年 月 日